



今年度のボランティア活動も順次実施されております。今回は、クラス・クラブ、個人での自主的な独自ボランティア活動の様子を投稿していただきました。

◇「社会参加委員を経験して」

32期 美術 高木 真

平成29年4月、クラス内で慌ただしく種々の係を決めなければならない雰囲気の中で、私は社会参加委員を担当することになりました。

社会参加委員というのは、主としてボランティア活動をするのだということを聞き、会社員時代に、当時の仲間と、熱田神宮周りのゴミ拾いをしたことを思い出し、「あの時楽しかったので、何とか出来そうかな。」と思いました。

この2年間、私自身は、堀川清掃に2回、藤前干潟とウィメンズマラソンのボランティアに各1回参加しましたが、いずれも好天に恵まれ、クラスの仲間や鯨城の他のクラスの方々とも談笑しながら、大変楽しく活動することが出来ました。

この様な経験ができましたのも、鯨城に入学出来たお蔭と感謝しています。

早いもので、卒業の時期が迫ってきていますが3月10日のウィメンズマラソンボランティアに参加することも決まっており、その際には、1年生の時の経験を生かして、又、仲間達と大いに楽しみたいと思っています。

この2年間の経験が楽しいものでしたので、卒業後も、何らかの形でボランティア活動が出来たらいいなとも考えています。

最後になりましたが、当学園に於いてボランティア活動に関わられた皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

◇「藤前干潟クリーン大作戦」に参加して

33期 陶芸 前田 清美

10月27日(土)、朝から「海がきれいになる為のボランティア」と意気込んで集合場所へ、私の住まいは中川区、港は近いので進んで参加しました。干潟中が「アッ」という間にきれいになってくれる様な気持ちでいましたが、現地に着いてビックリです。

台風が続いて発生した影響もあったそうで、今年は特別に多かったようです。発泡スチロール、ペットボトルは信じられない程の量です。どうしてなのか乾電池も打ち寄せられていました。拾っても、拾っても、変わらない、その内だんだん夢中なり、時間も気にせずに拾っていました。ゴミの袋はドンドン増えていくのに、目の前のゴミは全く変わらない。

鯨城の人だけではなく企業の若い人達も沢山参加していましたが、私達の2時間たらずの「ボランティア」では本当に、微々たるものだと言われました。でも、この微々たる助けが山となれば干潟の渡り鳥も喜んでくれることと信じています。



## ◇「社会参加委員としての思い」

33期 福祉 磯部 晴夫

昨年より1年間、社会参加委員として、右も左もわからぬまま、ただひたすら活動してまいりました。入学以前から、各種の社会活動やボランティア活動には興味があったので、わずかながら、お手伝い出来たこと、うれしく思います。

社会参加委員第1班の役割活動は①堀川清掃大作戦②鶴舞公園清掃③藤前干潟クリーン大作戦④ウィメンズマラソン⑤フードドライブの5つでした。

どの活動も楽しく、充実した時間を過ごす事が出来ましたが、たとえば藤前干潟のゴミの量は想像以上に多く、年2回の活動だけでは、とてもゴミはなくなるという印象を受けました。

また1昨年より始めましたフードドライブでは、お米を始め、お菓子、レトルト食品、缶詰、飲み物、他多数提供して頂き、東海地方でフードバンク活動を行っているNPO法人セカンドハーベスト(直訳:第2の収穫)名古屋に持ち込むことが出来ました。このセカンドハーベストは2人の役員と50名のボランティア会員で運営されており、皆様の善意で集められた食品を、生活に困った方などに供給しています。

「人は生きる権利を持っている」「生きることは食べること」-今回の活動を通じて実感する事ができました。

学園生活も2年目に入ります。今後も、社会の一員として、少しでもお役に立てれば、そして、活動を続けていくことができれば幸いです。皆さん、是非ボランティアに参加し、共に楽しみましょう。

## ◇「生かされた命」とボランティア

33期 美術 松本 耕一

私は東日本大震災で被災しました。震度6強の揺れを体験しました。自分の生き方を大きく変わる出来事でした。

死ぬという恐怖はありませんでしたが、避難をしている車で見た津波の映像、何よりも凄かったのは気仙沼の海が燃えている映像、住まいのあった仙台からでも北東の空(気仙沼上空)が赤くなっているのが見えました。その時、自分は生きてるのではなく、まさしく、生かされているのだと実感しました。

たくさんの友達が安否を気遣ってくれました。幸い私も家内も怪我もなく、住まいも大きな被害を受けませんでした。友達にはその旨と、被害を受けた東北に支援をお願いしました。

「生かされた命」だから、何かしなくてはいけない。初めて災害ボランティアに出ました。

石巻市で津波に流された冷凍庫の魚を拾いました。臭い、腐った魚は臭い。それ以上に余震で津波が来たら、平らな石巻市は逃げる所がない。そんな恐怖もありました。無事に1日が終わるのを待ちました。

1年後定年退職もあり名古屋に戻りました。もうすぐ地震から8年、すべてが風化しつつあります。でも「生かされた命」今は自分の住む地域・名古屋の役に立ちたいそれが私の「生かされた命」の感謝です。

・ 3/10(日) 名古屋ウィメンズマラソンボランティア

